

共立女子第二中学校

2024年度

入学試験問題（2回AM）

【 国 語 】

試験時間 50 分

【 注 意 】

- 1 試験開始の合図があるまで、中を見てはいけません。
- 2 問題は一〜三で、全部で12ページです。試験中によごれや不足しているページに気づいた場合は、手をあげて監督かんとくの先生を呼んでください。
- 3 解答はすべて解答用紙にはっきりと記入し、解答用紙だけを提出してください。

一、次の文章を読んで、後の各問いに答えなさい。(本文には一部改めたところがあります)

近年、IoT (Internet of Things : インターネットに家電や車など、多くのモノがつながる状態)、AI (Artificial Intelligence : 人工知能) などの言葉をよく聞くようになりました。コンピュータが進歩し、通信基盤が整備されてくると多くのデータが扱えるようになります。それによって、さまざまなモノ同士がつながり、モノが動かせたり、動画を見られたり、便利でスピード感のある社会が生まれます。

① その社会の形を表現したのが、「ソサエティ5・0」という言葉です。内閣府が2016年にまとめた『第5期科学技術基本計画』の中で使われました。「サイバー空間(仮想空間)とフィジカル空間(現実空間)を高度に融合させたシステムにより、経済発展と社会的課題の解決を両立する、人間中心の社会(Society)」という意味です。

私たち人類は、狩猟で食料を得ていた社会(ソサエティ1・0)から、農耕中心の社会(2・0)、工業中心の社会(3・0)を経て、現在は情報社会(4・0)です。そしてこれからは、ネット等のテクノロジーを使いこなす超スマート社会(5・0)を目指していくという方向性を政府が示しました。

技術が発展することで、私たちの仕事の内容が変化していきます。人が担ってきたことを機械やコンピュータ、さらにはAIが代わりにやってくれるからです。田畑を耕すのは昔は人や動物でしたが、今はトラクターで早く効率的に作業します(②)。手紙などは、以前は郵便屋さんが運んでくれましたが、今は電子メールで瞬時に送れます(③)。

みなさんは知らないかもしれませんが、駅の改札では、昔は駅員さんが切符を切っていました。その後自動改札機となり、最近是非接触型のカードで、ピッとかざすだけで改札を通過することができます。技術が進展すれば、人々の仕事の多くは機械に置き換わります。④ 駅員さんの仕事内容も大きく変わりました。機械が故障した時の対処とか、道案内、落とし物への対応、駅でのイベントの企画、障がいのある方々への対応など、機械ができない仕事です。⑤ 駅員さんに求められるスキルも当然変化しています。

● 創造性 「作曲家」「小説家」は、芸術的な創造性が必要で、こういった分野への進出はかなり時間がかかると予想されていますが、AIによる小説や、作曲についての模索がすでに始まっています。

● 協調性 「⑨」「産業カウンセラー（働く人々のカウンセリングをする仕事）」は、協調性が必要です。知識も B 必要ですが、相手の気持ちを受け止めるなどの人と接するスキルも必要です。

このように、私たちがこれまでしてきた仕事の多くは機械がしてくれるようになり、人がするのは、人にしかできない仕事です。そういう時代背景もあって、学校では、「主体的・対話的で深い学び」（新学習指導要領）が求められます。みんなで意見を出し合って自分なりの答えを探していき、自分の考えをみんなに伝えていきます。教室は、機械ができないこと、つまり自分で考えて、自分なりの答えをみんなで見つけていく場所が変わりつつあります。

C、学校は仕事に必要な知識や技能を習得するためだけの場所ではありません。しかし、そういう時代を生き抜いていくことをみなさんはしっかり意識しておく必要があります。

〔竹内和雄『10代と考える「スマホ」による〕

*スキル Ⅱ 技術。

問一 ① 「その社会」とはどのような社会ですか。説明として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 経済的發展と社会的課題を解決する農耕中心の社会。 イ 狩猟と工業が中心の、通信基盤が整備されている社会。

ウ 多くのデータを扱わないと、モノを動かさない社会。 エ コンピュータが進歩し、便利でスピード感のある社会。

問二 ②・③ にあてはまる数字の組み合わせとして最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア ② 5・0 ③ 4・0 イ ② 3・0 ③ 4・0 ウ ② 4・0 ③ 3・0 エ ② 1・0 ③ 2・0

問三 ④ 「駅員さんの仕事内容」とありますが、それについて説明した文になるよう、空らんに入る語を本文中よりぬき出しなさい。

乗客の□□を切る仕事は、□□□□□の導入によりなくなった。今は□□ができない仕事をするようになった。

ばあちゃんちでは、昔から、子どものケンカは坊主めくりで決着をつけることになっていた。戦略性ゼロの完全なる運ゲーなので、言い合いしながらでもできるし、熱中しているうちにケンカの理由も忘れてしまうからだ。

昔から、私と古雪はよくこうやって坊主めくりをした。

そういえば古雪とケンカ、しばらくしてなかったな。そう思いながら、絵札を交ぜる古雪の綺麗な指先を眺める。じゃんけんをして、勝った古雪からめくっていく。最初は殿だった。

次は私。

「あ、紫式部だ」

めぐりあひて見しやそれとも分かぬまに雲隠れにし夜半の月かな

「百人一首って、①の歌は多いけど、星の歌ってないわね」

次の札をめぐりながら、古雪がそんなことを言った。

「そうなんだ」

古雪は昔から古典や歴史が好きで、百人一首も完璧に覚えていたけど、私は記憶力も根気もないからなかなか覚えられず、結局坊主めくりばかりしてたんだっけ。

「さすが、詳しいね」

「好きなものよ。和歌とか」

「文系行けば？」

「無理ね。うちの親、厳しいから。あんたのとこと違って」

古雪は淡々と答えた。なんかこう、突き放されたような気がした。

「私は理系に進んで、医学部に行つて、宝生医院を継ぐでしょうね」

②「古雪はそれでいいの？」

「医者をつまえて結婚しなさいと言われるよりいくらかマシよ」

古雪は悟りきった顔で言い、札をめくった。

なげけとて月やはものを思はするか
こち顔なるわが涙かな

また ① の歌だ。

詠み手は西行法師。坊主だ。古雪は持ち札をすべて捨てた。

「私」

すかんぴんになった古雪は、ふう、と息をついた。

③ ……あんたが羨ましかったの。ずっと」

「なんで。古雪はずっと優等生だったじゃん」

「だからよ。えるもみたいに自由に生きられたらって、ずっと思ってた」

自由？ 自由なのかな、私は？

たしかに古雪は、小さいころから、暴走しがちな私のブレーキ役だったけど。

④ 「私は古雪が羨ましかったよ。家も平和だしさ」

やっかみっぽくなる。札をめくると、坊主だった。

二人とも持ち札ナシ。

⑤ 「そりや、問題がないって意味では円満だわよ。事なかれ主義だからね。うちは」

含みのある言葉だった。

⑥ そういえば最近、^{*}伯父さんと伯母さんに会ってない。

伯父さんは真面目一徹って感じの医者で、伯母さんも几帳面なしっかり者タイプ。うちの母さんに比べればそりやもう「まとも」

な人たちだけど、自分が娘だとしたら……ちよつと息苦しいかも、とは思う。

⑦ 「何不自由なく育ってきたってことは自覚してる。あんたたちが大変だったことも知ってる。^{*}叔母さんがいきなり東京に行くとか言

い出したときは、さすがにあんたに同情した」

古雪はそこで、苦々しく唇を嚙んだ。そして、「嘘ね。やっぱり勝手な一家だなんて思ったわ」正直な思いを吐露する。

「今もそう。無責任だなんて思う。みんな」

古雪は投げやりな感じで言った。

私は、正座した膝の上で両手を握り込んだ。

「私が東京に行つて、怒つた？」

「そうね……」

古雪はまた札をめぐつた。

「羨ましくて、憎らしかつた。だって私は、きっと一生この町から出られないんだもの」丸眼鏡の奥の綺麗な瞳が、諦めの色で濁る。

私、古雪がそんなふうに見えるなんて、ちつとも知らなかった。

しばらく沈黙になった。ただただ、札をめくる。

「私があんたのアカウントをフォローしてるのは知ってたでしょう？」

「うん。てか私が教えたし。生存報告につて」

「そう。だから⑥覗いてた。最初は本当に心配だったからね。でも……あんたが東京に行つて、だんだん変わつてくのを見てると」

古雪が大きく息を吸い込み、ちよつとの間息を止めて、ふうつと吐き出した。

「なんだ、楽しそうじゃんつて。心配してる私、馬鹿みたいつて」

「ねえ、SNSに上げるのなんて⑦したとこだけだよ。加工もめっちゃしてるし。ほんと毎日⑧としてたよ」
「わかつてるわよ。誰だつてそうだわ」

絞り出すように言った古雪は。

助けを求めてるみたいに見えた。

「でも耐えられなかったのよ」

だから、捨てアカウントを作った。

「えりい」のアカウントに、DMを送った。

嘘つき。

あんたなんかただの田舎者じゃん。

本名セサミストリートだし。加工詐欺。

「気晴らしのつもりだったの。こんなことになるなんて、思わなかった」

古雪はうつむき、ふるふる震え始めた。膝の上に、涙の粒が落ちた。

「古雪」

声をかけるけど、なんて言っていいかわからなかった。

古雪は顔を上げる。

「私、謝らないわよ。謝ったら、許さないといけなくなるでしょ」

そして、泣きながら、笑った。

「許さないで。ずっと恨んで」

私は、しばらく何も言えなかった。

いっぼう古雪は、ずびりと涙をすすると、背筋を伸ばし、そしてまた札をめくった。

好きとか嫌いとか、簡単に割り切れない。

でも、傷を抱え込んでなお凛とした古雪の姿は、やっぱり美しいなとか、思うのだ。

そして、何往復かしたころ。

「私」

私は勇気を出して、切り出した。

「あれが古雪だったなんて夢にも思わなかったし、すっごい傷ついたけど」

その傷は、まだ痛むけど。

⑨ 「でも、古雪のせいじゃないんだよ」

だって、あのDMを見て、友達を疑ってしまったのは私だ。つまり、疑ってしまえる程度の関係だったということ。

思えば東京では、友達とこんなふうケンカしたりすることもなかった。いつも空気を読んで、みんなに合わせて、本音なんか話したこともなかったから。

「結局私、東京では、本当の友達なんかいなかった」

自分の過去の投稿を思い起こす。重加工済みの、にっこり笑顔の写真たち。

そのときは無自覚だったけど、今ならわかる。たぶんあれは、久閑野のみんなに自分の充実感をアピールしたかったわけじゃなく。

私が、⑩を、騙すためだった。

本当は、みんなに気を遣ってがんじがらめで、言いたいことも言えなくて、密につながってるのに不安。そんな自分を、自分自身から、隠すため。

「だから……、久閑野に帰ってきてよかったんだよ」

無理やり笑うのはやめて。一人を怖がるのはやめて。

スマホの画面越しでなく、直接、自分を見つめる。どれだけ醜くても。

⑫ そのために、私は、ここに帰ってきたんだ。

「うん。私、帰ってきてよかった」

ああ今、初めて、そう思えた。ようやく過去を振り切れた気がした。

いつもいつも、回り道ばかりしてしまう。

自分に正直になるってだけのことが、こんなにも難しくって。だから。

「私はやっぱり、古雪が羨ましいよ」

結局のところ、ないものねだり。お互いに羨み合っていたってこと。

ままならないなと思うけど。でも、ざぶざぶと深い川を渡ったその先で、やっとまっすぐ視線が合った気がする。

古雪は息をついた。

「……なんかスツキリしたわ」

「私も」

同意して、笑う。

坊主めくりは僅差で私の勝ち。古雪はせいせいした表情で、伸びをした。

「やっぱりケンカは⑬に限るわね」

〔天川栄人『セントエルモの光 久閑野高校天文部の、春と夏』による〕

*伯父さんと伯母さん 〓 ここは古雪の両親のことを指している。

*叔母さん 〓 こちらは「私」の母親を指している。

*DM 〓 ダイレクトメッセージのこと。SNSで、特定の相手やグループ内のみで個別メッセージを送信できる機能のこと。

問一 ①には二か所とも同じ語が入ります。あてはまる語を本文中より漢字一字でぬき出しなさい。

問二 ②「古雪はそれでいいの？」とありますが、「それ」とはどのようなことを指していますか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 周囲に迷惑をかけたとしても、自分の希望を押し通していくこと。

イ 自分のやりたいことをあきらめて親の言う通りに生きていくこと。

ウ 自分の本当の思いを親に伝えず、こっそりとかなえてしまうこと。

エ 苦手な理系科目に苦勞しても、夢だった医者を目指していくこと。

問三 ③「……あなたが羨ましかったの。ずっと」・④「私は古雪が羨ましかったよ。家も平和だしさ」とありますが、このようにお互いに羨ましがっている状態のことを本文中では、どのように表現していますか。本文中より七字でぬき出しなさい。

問四 ⑤「事なかれ主義」とありますが、ここではどのような意味ですか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 何か問題があったとしても、向き合って解決をしようとするのではなく、表面的な平和を優先しようとする。

イ 医者が続けることが何よりも大切なことであり、その他のことはすべて犠牲にしても構わないと考えている。

ウ 個人の考えを尊重しているために、考えが間違っていると思っても各自の責任として指摘することはしない。

エ 周囲からどう見られているかを常に考え、世間の常識から外れてしまわないようにいつも気をつけている。

問五 ⑥く ⑧にあてはまる語として最も適するものをそれぞれ選び、記号で答えなさい。

ア ウツウツ イ キラキラ ウ どんどん エ ちよくちよく

問六 ⑨「でも、古雪のせいじゃないんだよ」とありますが、この言葉の理由として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア あまりにも古雪が自分自身を責めている様子を見ていられず「私」が気を遣ったから。

イ 現在では「私」は全く気にしていないということを古雪にきちんと伝えたかったから。

ウ 古雪の行動はきつかけにすぎず、その後の自分の行動が原因だったと考えているから。

エ 自分のせいだと勘違いしている古雪に今まで隠していた真実を伝えようと考えていたから。

問七 ⑩「本当の友達」とありますが、ここではどのような意味ですか。最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 本音をぶつけあうことができる イ どんなことがあっても裏切らない

ウ なんでも許しあうことができる エ どんなときでもお互いに支えあう

問八 ⑪にあてはまる語として最も適するものを選び、記号で答えなさい。

ア 古雪 イ 母親 ウ 私自身 エ 久閑野

問九 ⑫「そのために、私は、ここに帰ってきたんだ」とありますが、「私」が帰ってきた理由を本文中の語句を使って二十字以内で説明しなさい。

問十 ⑬にあてはまる語を本文中よりぬき出しなさい。

三、次の各問いに答えなさい。

問一 次の①～④の——線部の語と同じはたらきをする語をそれぞれ選び、記号で答えなさい。(記号は一度しか使えません)

- ① レモンかおのいい香りがする。 ② 家から駅まで歩く。 ③ あの高い山に登りたい。 ④ しかし、お腹なかが空すいていない。

ア たたとえば イ いす ウ 話す エ 楽しい

問二 次の①～④のA・Bに反対の意味になる漢字を入れて四字熟語を完成させなさい。

- ① 空 **A** 絶 **B** ② **A** 三 **B** 四 ③ 一 部 **A** **B** ④ **A** 口 **B** 音

問三 次の①～④の熟語が対義語の関係になるように、にあてはまる漢字一字をそれぞれ答えなさい。

- ① 過去 ↑ ↓ 来 ② 具体 ↑ ↓ 抽 ③ 短縮 ↑ ↓ 長 ④ 権利 ↑ ↓ 務

問四 次の①～④の文の——線部の漢字をひらがなに直しなさい。

- ① 海からの潮風うしほを感じる。 ② 桃太郎ももたろうのお供。 ③ 米と麦は五穀ごこくにふくまれる。 ④ 大会で宙返りうづまわりをきめる。

問五 次の①～④の文の——線部のカタカナを漢字に直しなさい。必要ならば、送りがなをひらがなで書きなさい。

- ① カクメイで世界が変わる。 ② 成長のダンカイ。 ③ グンシユウを見回す。 ④ 友の名をヨブ。